

2019-20年度

# ガバナー公式訪問

## クラブ協議会

とき 令和元年8月28日(水)

ところ ホテルヘリテージ飯能sta.

### 飯能ロータリークラブ 日高ロータリークラブ

#### ●飯能RC

土屋 崇会長

マローニーRI会長は、地域社会や世界とのつながり、仲間とのつながり、支援を必要とする人々とのつながりを掲げられました。鈴木ガバナーは、組織の未来へつなぐ、個人の未来へつなぐ、そしてサブテーマを掲げられました。飯能RCはS 39年に創立、55周年を迎えましたが「つなぐ」という事はRC活動の原点だと思えます。飯能RCが60年、100年と続くように、また、奉仕・委員会活動の継続性は時間軸のつながり、会員同士、家族、地域社会、他団体とのつながり(交流)は人と人とのつながりです。RCの魅力とは、一人ひとりのロータリアンの魅力と、活動を通じて得られる信頼・達成感・充実感だと思います。

飯能クラブも「つなぐ」をテーマに、

- 1 55周年記念行事の開催
- 2 飯能RCの過去・現在・未来を考える…ガバナー輩出の下地作りをしたい。
- 3 公共イメージの向上…RC財団の地区補助金を初めて頂く事が出来ました。地域社会にRC活動をアピールしていきたい。
- 4 会員増強…皆さんに会員を1人ずつ紹介して頂き、入会を勧めて頂けるよう是非ともご協力をお願い致します。
- 5 退会防止…飯能RCの平均年齢は68.1才。若い会員を増やしたい。

「人と人とのつながり」「心と心の結びつき」をスローガンに、次年度へ無事にバトンタッチ出来るよう努めます。

#### ●クラブ奉仕委員会

森 健二委員長

吉田(健)、石井、齋藤委員と担当します。委員全員がバスト会長で経験豊富、年度方針の策定に当たってもいろいろとお聞きし、資料も頂きました。鋭意整理しているところです。当委員会は、要するにクラブの機能を充実させる、効果的な運営を行う一助となるべき委員会と認識しています。本年度の方針として2つ挙げました。所属する4委員会は、「出席向上」:入会して頂いた会員には例会にまず出席して頂いて、いろいろな事をやって頂く。「プログラム」:毎週30分の卓話を通じて会員の見識、人格を深めて頂く。「ロータリー情報」:経験の浅い会員に「RCとは何か」をレクチャーして育てていく。「親睦活動」:イベントを通じ会員相互の親睦を深めると、やるべき事が分かる、現実的に活動を行う委員会ですけれども、「クラブ奉仕」には特段や

る事はありません。そこで、何をするかという目標に第一に掲げたのは、現実的なクラブの活動と会員の皆様、執行部の皆様との風通しを良くして、いろいろなどころでご相談に乗り、なるべくスムーズに活動がなされるようにしていければいいのかなと思いました。

もう一つは先程ガバナーもおっしゃいましたが、活動の中で、まず基本を大事にし、そして変化を恐れるなという事。当クラブが今後10年20年と繁栄していくための、効果的な運営の方法を模索していくのも当委員会の仕事の一つかなと思っています。そういう事から、2004年度にRI理事会で承認されたCLPについて、今までの組織とはちょっと違うところを考えてみたい。10月上旬に担当卓話を頂いたので、CLPを題材に考えてみたいと思っています。

#### ●職業奉仕委員会

福島 毅委員長

沢辺、吉田(武)委員と担当します。ロータリアンの行動規範について、ガバナーのお話は非常に分かり易く、リアルタイムに今日は勉強出来たなと思えました。「最もよく奉仕する者、最も多く報いられる」という行動目標で「職業を通して社会に貢献する」のが当委員会の理念。その独自の考え方から「RCの金看板」と諸先輩より叱咤激励されます。例会での「四つのテスト」唱和が当委員会の担当で、英語での唱和、歌による唱和と、他地区では見られない取り組みを実施して来ました。本年度も継続して行います。

新たな取り組みとして、他委員会の協力も得ながら、職業奉仕の理念を周知する事が出来る事業を考えており、現在のところ、親睦旅行の中での会社訪問を計画しています。本日配付の「職業奉仕に関するご案内」には、ロータリアンの行動規範が非常に簡潔明快に説明されておりますので、ご熟読頂き、これからの職業奉仕の参考にして頂きたいと思っております。

#### ●社会奉仕委員会

服部融亮委員長

平沼、石倉委員と担当します。飯能RCは55年の歴史を育んで参りましたが、これから先もこの地でRC活動を行っていくわけです。そんな中で、未来に向けて新しい事業を模索してみようという事で考えております。昨年度、島田会長の時に一度プログラムを提出させて頂いたのですが時間的な面から却下となりました。しかし、島田会長が土屋会長に託されました。RC財団には5月までに補助金の申請をするようにとの事で、増島先生には大変申し訳なかったの

ですが、事業を急遽立ち上げ、申請させて頂きまして、先程幹事のご報告の通り、無事1000ドルの補助金を頂く事が出来ました。ガバナーのお話「着目して実施する」とは正にその事なのだろうと思っております。実は、日にちも11/9と決まり、飯能信用金庫総合グラウンドをお借りして「U10少年サッカー大会」を開催したいと思っております。何故サッカー大会なのかと言いますと、3年前、飯能RC会員にご出席頂き私が会長で、ボカ・ジュニアーズU12ジュニアユースを創りました。3年が経ち、サッカー事業をもっと広めていきたいという気持ちがありましたが、今の現実を聞いてみますと、スポ少においても1つの小学校で1つのクラブを運営する事が難しくなっているという話があり、いくつもの学校で一緒になって活動しているという事も聞いております。また、小6位ですといろいろな大会があるのですが10才位の子供達の大会というのがあまりございません。そこに着目して、この大会を実施してみようというお話を申し上げました。そして、内諾を頂いた中で動かして頂き、補助金も頂いたところで、また、9月の例会で会員の皆様に概要をお話したいと思っております。今年度で終わる事業ではなく来年度以降も続けていける事業、「飯能RC」が冠となる、地区や他地区にもPR出来る事業だと思っております。既存の大会にお金を出して名前を付けるのと違い、一から立ち上げております。ですから、大会運営費等におきましても、これから皆様にお願いをしながら、少しずつ、ニコニコBOXに入れて頂くような気持ちで浄財を頂ければと、虫のいい事を思っております。RCからもRC財団からの補助金も頂き、ある程度の運営は出来ますが、それでも1つの大会を行うにはまだまだ足りておりません。是非ご協力を頂きたいと思っております。「RCの目的」には「社会奉仕活動の実践を行うことよりも、社会奉仕活動の必要性を会員に自覚させ、さらに地域社会の人々を取り込んで実践させることに主眼が置かれている」とあります。もしかしたら世界の久保、本田といった有名選手が出るかもしれません。是非ご協力を頂きまして、継続的に成功出来ますようよろしくお願い申し上げます。

#### ●国際奉仕委員会 市川 昭委員長

大附、木川委員と担当します。先日、地区のセミナーで勉強してきました。6つの重点分野があり、その1つ「基本的な教育と識字率の向上」を地区としては推進しているとの事でした。飯能では過去5年間にわたりベトナム・タインホア省の5つの高校にPCを100台、プリンター20台を寄贈して参りました。継続事業としては、駿河台大学の学園祭に催される「留学生日本語スピーチコンテスト」に審査員として招かれ、成績優秀者に例会で発表してもらう事をやっています。ただ、今年度は学園祭でのコンテストは実施しないとの事。その代わり、年明けに飯能市国際交流協会と共催で「国際交流パーティー」を行い、その中で「スピーチコンテスト」を開催するそうです。例年通り審査員の派遣依頼は受けておりますので、例会でも発表して頂く方針です。飯能市にも多くの外国人がいらっしやいます。その中で、我々ロータリアン一人ひとりが、国際間の理解と善意をもって行動出

来るようにしたいと思っております。

#### ●青少年奉仕委員会 吉田行男委員長

神田(康)、山川委員と担当します。若い人のためにどういう事が出来るだろうかという事を念頭に入れて、この一年間、青少年奉仕活動とRCの周知活動を進めて参りたい。服部委員長のお話の通り、少年サッカー大会への支援協力を第1に、是非これを成功させていきたい。一生懸命協力して、いい大会になるよう努めて参ります。2番目として、5/8加藤慎也様(深谷RC)より、インターアクトクラブの現状と今後の課題について卓話を頂きましたが、飯能市における加盟参加校は、私立高校で何とかならないかなという事で、その模索と推進をやってみたいと思っております。担当例会は魅力的な講師を選んでいきたいと思っております。

#### ◎鈴木ガバナー講評

いくつか特徴的な事だけお話し申し上げます。両会長のお話につきましては「年度計画書」も読まさせて頂き、大変素晴らしい計画をもっておやり頂いているという事で、是非計画を全てやり遂げて頂ければ有難いと思っております。「クラブ奉仕委員会」:「管理運営」という形をきっちり意識しておやり頂いているという事でよろしいんじゃないかなと思います。ただ、「会員増強」「公共イメージ」の発表が無かったのですが、RIでは「会員増強」と「公共イメージ」に力を入れているという事だけご理解下さい。「職業奉仕」:会社訪問のお話がありました。訪問の時には目的をもって見学して頂ければ有難いかなと思います。職種によっては工程を見学する等あるかもしれませんが、特に経営者の方のお考えを聴いて頂くといいと思います。その中で、とかく我々が言っている「職業奉仕」、それらについてどのように考えておられるか、特に高潔性の問題ですとか環境の問題等についてこちらの会社はどう考えているかとか、そういう何かポイントをもって見学して頂くとさらに深化していくのではないかなと思っております。「社会奉仕」:市民を巻き込んでいく事も大切な事だと思います。RCの人達だけで一生懸命汗をかくのも、それはそれでいいのですが、共に市民の方にも汗をかいて頂ければ、市民により理解して頂けるのかなと思います。「見直し」「他クラブとの協働」「他団体との協働」そんなところまでお考え頂ければなお有難いと思っております。「国際奉仕」:是非グローバル補助金への申請をして頂きたい。毎年、地区補助金で来るものが使い切らないという現状もあるようです。是非使い切るようにやって頂きたい。これは他のクラブの話ですが、長く支援をして、そろそろ他の事に移りたいなと思っても今まで支援をしているとなかなかそれを卒業したいと言えない場合があります。一般論ですが、そういった事で、打ち切りをなかなか言い出しにくいという話がありました。実は逆もありまして、RCさんが毎年やってくれているので、もうそろそろいいと思うんだけどなかなか言い出しにくいという話もありました。今までやってきた事を大切にするという部分では必要なのですが、CHANGEという事も踏まえて考えてみて頂ければいいのかなと思っております。

両クラブのご発展をご期待申し上げます。